

保健体育科 1年

体育分野 体づくり運動～ICT を用いた学習のすすめ～

担当 木梨 祐司

【活動の目標】

みんながともに楽しめるステーションドリルを作成することを通して、個人の違いに応じた運動の例を伝え合うことができる。

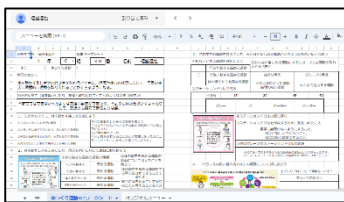
【 問 い 】

- ・仲間と一緒に、楽しくラインジャンプをできる組み合わせを考えよう。
- ・これまでの運動を参考にして、みんなが楽しめる運動がどのようなものかを伝え合おう。

今回 ICT を活用した場面	従来 of 活動
B2 個に応じる指導 単元の学習を ICT のワークシートに記録していく。単元を通して、自身の学びや考えを記録して振り返りにもつなげていく。	紙媒体のワークシートをもとに学習を進める。学習の様子を観察やワークシートの取り組みから評価を進めていく。
C1 発表や話し合い ラインジャンプの組み合わせを考える場面で、これまで取り組んでいたものをカードにまとめて、選択しやすいように工夫した。	ラインジャンプの一覧をまとめて、カードにする際に写真を入れることで選択することが容易となった。
C2 協働での意見整理 これまでの運動を動画で保存して見直しができることで、話し合いの中で意見を伝えやすくすることができていた。	実技資料集やワークシートの記録、これまでの運動経験などを中心に話し合いを進めて、自分たちの運動計画を作成していた。

【資料】

①ICT レポート



入力する生徒

②ラインジャンプカード



このカードをもとに話し合う

③動画資料(共有ドライブ保存)



資料をもとに選択

【ICT 機器を活用する良さ】

- ワークシートを ICT 課題とすることで、回収一点検を簡略化し、学習の記録を経過観察できる。進捗状況の把握が容易になる。
- カードなどを用意することはこれまでもしていたが、撮影した画像を用いたり、動画も見れたりすることで生徒の話し合いがスムーズになった。
- 運動動画を共有ドライブに保存することで、どのような運動を選ぶかについて「ねらい」をもとに意見を伝えることができた。

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・CB の取扱いの指導と機材管理
⇒CB を授業で用いるのは今回が初となる。今後も常用化していくためにも取扱いや機材管理の指導を徹底する。
- ・使用する場面やねらいの設定が要点となる
⇒授業では教科資料集(副教材)も使用した。ICT を今後も使用していくには場面やねらいの設定を明確にすることで、効果的な活用を目指す。